

愛隣館研修センターニュース

〒612-8141 京都市伏見区向島二ノ丸町 151 Tel:075-621-3849 Fax:075-621-1579
E-mail:airinday@sunny.ocn.ne.jp http://www.airinkan.net 振替:01020-5-39321
編集発行所:社会福祉法人愛隣館研修センター 発行責任者:平田 義

88号

この国は一体どこに向かっていくのか? ～憲法改悪を許さない!～

平田義

憲法があぶない!

参議院選挙が公示され、各新聞社の世論調査によれば、自民党が単独過半数を獲得する勢いだそうだ。多くの有権者の関心は「景気対策」にあり、「アベノミクス」とやらで景気が回復傾向にあることが評価されているのだろう。自民党は「日本を取り戻す」と宣言し、「経済再生」を前面に掲げて選挙に臨んでいますが、選挙の結果次第で「憲法改悪」を目論んでいることは周知の事実だ。が、しかし、その危険性が大きく取り上げられることは少ない。自民党は憲法をどのように変えようとしているのか。彼らの狙いはどこにあるのかを「自民党憲法改正草案」から読み解いてみたい。

問題点その1～立憲主義が放棄される!?～

現行憲法 99条

「天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ。」

立憲主義とは国家権力が暴走しないように憲法において歯止めをかける仕組みのことである。権力を行使する側が国民の人権を侵害することができないように、憲法尊重擁護義務が課せられているのである。

しかし、自民党草案ではこの立憲主義が放棄されているのである。つまり、国民に憲法尊重擁護義務が課せられ、天皇や摂政に対する義務は免除されている。これは、国民の権利を後退させ、国民に様々な義務を課せるようにし、人権よりも国策が重んじられている。

例えば、自民党草案の前文に「日本国民は、国と郷土を誇りと氣概を持って守り」と国民

に「国防義務」を課している。また、自民党草案第3条には「国旗は日章旗とし、国歌は君が代とする。国民は国旗及び国歌を尊重しなければならない」とある。日の丸、君が代については天皇制とのからみで、様々な考え方がある。そこに尊重義務が課せられることは、思想、信条の自由を奪うことに他ならない。この義務が拡大解釈されて不敬罪が復活するかもわからない。

問題点その2～平和主義も放棄される!?～

現行憲法前文

「われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。」

現行憲法前文では、平和的生存権を定めている。これは、「平和」の意味を、単に戦争のない状況を指すのではなく、差別や抑圧による人権侵害や、飢餓や貧困など、人間の尊厳を脅かすあらゆる「恐怖」や「欠乏」に苦しむことなく生活できることと規定している。

しかし、自民党草案の前文では、この素晴らしい平和的生存権の部分は全文削除されているばかりか、「戦争責任」を放棄し、「戦争できる国づくり」のための文言となっていると言っても過言ではない。

問題点その3～戦争できる国へ向かうのか!?～

現行憲法「戦争の放棄」第2章9条

「日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。2 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。」

現行憲法では、戦争の放棄、戦力の不保持、交戦権の否認という平和主義の三原則を明示している。

ところが、自民党草案においては、表題の「戦争の放棄」を「安全保障」に変え、9条の2において「国防軍」という軍隊を創設し、交戦権否認条項を削除した。つまり、平和主義三原則のうち、戦力の不保持と交戦権の否認を完全に放棄しているのである。また、「戦争の放棄」についての文言は残してはいるが、

「自衛権の発動を妨げるものではない」を加え、国防軍が「国際的に強調して行われる活動及び公の秩序」維持のために出動できるとしている。これにより、完全に「戦争できる国」になる。今後、アメリカが仕掛ける他国での戦争に、国際協力を名目に、日本の国防軍がが出動していくのだ。戦争に行き、殺し合いを余儀なくさせられるのは若者たちであり、憲法改悪を目指んでいる政治家ではないのだ。

問題点その4 ~人よりも国が大事!??~

現行憲法第 13 条

「個人の尊重・幸福追求権・公共の福祉」
「すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。」

自民党草案では「公益及び公の秩序」に置き換えられている。人が人として幸せに生きることよりも「公益=国益」が優先されていくのである。また、「公益及び公の秩序に反してはならない」ということは、「お上の決めたことに対する文句を言ってはアカンよ」ということで、原発反対のデモやオスプレイ阻止のデモも規制されかねないのだ。

終わりに

自民党草案の問題点はこれまで挙げてきたポイント以外にも「天皇を元首とする」など、そら恐ろしい内容となっている。これをそのまま出せば、「憲法改悪」のハードルが高くなり過ぎるために、まずは現行憲法 96 条の「改正の手続き」を議員の三分の二の賛成から過半数に変えていこうとしている。姑息なやり方である。

参議院議員で元読谷村村長の山内徳信さんは参議院予算委員会において安倍首相に次のような発言をされた。

「私は少なくとも、戦後の日本のこの六十年余りの戦後体制は平和憲法体制であったと思っているわけです。この平和憲法を今の政権与党が思う方向に、天皇を元首化にして、自衛隊を国防軍にして戦争のできる方向に、いわゆる武には武、目には目という形でどうも動きつつあるなど。その時に、安倍総理は日本のヒトラーと言われかねない。そういうことが言われたらいいかぬと思うのです。日本にはああいうヒトラーが生まれてはいかぬのです」（「民衆の闘い『巨象』を倒す」山内徳信著 創史社）

ヒトラーがドイツの国民から熱狂的な支持を受けたのも、手厚い経済政策を施したからであった。その結果、ユダヤ人をはじめ障がいのある方々を収容所へ送り、虐殺を行うという悲惨な状況に陥ったのである。「アベノミクス」がもてはやされている今の日本の状況と似てはいないか。日本にヒトラーを誕生させないためにも、来たる参議院選挙での私たちの選択が問われている。

わたしは何も出来ない
自分で起きることも
顔を洗うことも
食べることも
洗濯することも
衣服を着ることも
掃除することも
トイレの始末も
自分では出来ない
しかし
わたしは詩を書くことはできる
楽しければ
楽しいと書き
苦しければ
苦しいと書くこともできる
だから
わたしは詩を書こう
わたしだけの言葉を創ろう
何故なら
それがわたしの命の証だから

命の証

詩人柏木正行さん（1945-2006）の

「向島中央公園と2013・ホタル」

向島中央公園愛護協力会 山崎 洋一

向島ニュータウンは、最初の入居から今年で36年目を迎えます。ほぼ中央に中央広場、中央公園が配置され、その周りに郵便局、銀行、商店街や図書館、小学校、幼稚園、福祉施設、病院などの各施設が並んでいます。この団地も高度成長期に造られた他の団地と同様に少子高齢化が急速に進んでいます。現在の世帯数は約6,250戸、居住人口が約15,000人（1990年：世帯数約6,300戸、居住人口約19,000人）で、高齢化率が30%を超えるようになってきています。向島ニュータウンは既に立派なオールドタウンと呼ぶにふさわしく、住民の多くはお互いの助け合いが必要な年代になっています。このような状況は、まちづくりの活動を高齢者の生きがい作りや要介護者への支援活動へ向かわせています。

朝夕の中央公園は、かなりの賑わいを見せます。特に多くの高齢者の方が早朝の散歩を楽しんでいます。昼間は、園児や小学生が先生とともに散策する姿を見ます。中央公園は、ニュータウンの造成にあわせて造られた緑地公園で35年になります。この公園は東西約600m、南北40~50mの細長い公園で、東西に散策路と小川が流れるかなり良く設計された公園です。多くの樹種が植栽され、四季をつうじて樹木と花が楽しめ、その花や実を求めて野鳥が訪れます。中央公園愛護協力会は公園の清掃活動を行うとともに、メダカやトンボのヤゴ、カワニナ（ホタルの幼虫のエサになる巻貝）の放流など、公園の自然の生態系を育て・守る活動も続けています。そしてこの公園がニュータウンの住民の特に高齢者の方の身近な憩いの場所になってほしいと願っています。

2015年
4/8-13 芳花月

5/18 SIEA理事運営委員会 事務局会議

済州島セミナー（9/26-29）&
タイセミナー（2013年2月末～3月初旬）
参加者募集中！TEI：075-621-3849

mail : sjea@abelia.ocn.ne.jp

3年前になりますが、愛隣館に通う障害者の方と介護者の方（約30名）が、中央公園の清掃活動に参加していただいたことがありました。その時、私が愛護協力会の活動内容や公園の生い立ち、樹種など細かくお話しをしました。しかし、そのことをすぐ、反省しました。「森林セラピー」ということばが使われて久しいですが、当時の朝日新聞に掲載された

「鹿児島県霧島温泉郷にある『霧島桜ヶ丘病院』は、高齢認知症患者の治療に「森林療法」を取り入れている。」という記事があつたのを思い出したからです。(「・・・始めて、まだ1年だが変化は現れている。屋内では240歩しか歩かない人が森の中では、その10倍歩いた。前の日に家族が来たことも忘れる患者さんが森に入った翌日に「昨日は楽しかったね」と話し出して職員を驚かせた。・・・」)。公園の緑の樹木の下を散歩することが、障害者の方だけでなく、介護する方たちの癒しにもつながることを願っています。

最後に、先日、公園で実施した「ホタルの鑑賞会」について一言、中央公園愛護協力会、向島駅前まちづくり協議会、愛隣館の三者が共催したものですが、予想を超える多くの住民の方々にお集まりいただきました。しかし、多くの方を失望させてしまったのではないかと危惧しています。鑑賞会の目的、蛍の放流数、時間、場所などの検討が不十分だったことを反省し、ホタルにも申し訳なく思っています。来年以降のこととは、今のところ未定ですが、愛護協力会は清掃等の活動をとおして公園の自然が、ホタルの生息できる環境になることをめざしたいと考えています。「住民の皆様はじめ愛隣館の職員方々などのいっそこのご協力・ご支援をお願いします。」(2013.6)

藤田三郎さんへ

三郎さん、本当にお世話になりました。障がい者が露骨に差別を受けていた時代に障がい者が当たり前に生活できる環境を切り開いてくれた先人でした。不屈の精神で社会と戦ってきたまさに『闘士』でした。そして、愛する人のために献身的に接する優しい姿。本当に多くのことを学ばせて頂きました。これからも私たちは、三郎さん達の思いを引き継いでいきます。『人が人として当たり前に生きられる社会を目指し』。天国から私達を見守り、時には怒ってくださいね。（井桁光）

■□■■■あいりんコラム

「今はこれ以上の積極的な治療はおこなわない方が本人も苦しくないと思う。もう看取りの状態だと考えている。それに対してどのような意見か？」

こちらに意見を求めるという場は設けてはいるが、方針は既に決まっており、いかにそれに対して納得させるか？そんな医療側の思惑を疑ってしまう。それを受け止める側とのベクトル方向が全然違うと感じてしまう。

はっきり言おう。どんなにきれいに説明されても、身寄りが誰もなくて生活保護であるAさんへの医療の切り捨て感を拭いきれない。

「婦長の『納得されましたか?』という言葉がとても冷たく機械的に感じられる。『納得なんてできません。今の状況を受け止めることしかできません』それが精一杯だった。

次の日の朝、病院から連絡があり太田が駆け付けたときには、既にモニターではSPO₂値は0になつて、「ピィー」という電子音がずっと鳴りつづけている。太田が手を強く握ると時々数字が現れる。その間隔が段々と長くなつてきて、その後もう戻らなくなる。

施設入所されている重度の知的障がいの息子さんが到着する。すると、ゾロゾロと参拝者のごとく看護師や医者達が Aさんの周りを取り囲む。そしてドラマを見ているかのようにシナリオ通りに死亡が告げられる。医者が宣言して初めてその時間が死亡時間になる。

「(さっきまではほつたらかしやったのに・・・。)」
「お別れ言えて良かったね」という看護師達の決まり文句が虚しい。
病院という命を救う現場で、「本人主体、命を大切にすること、寄り添うこと」とは一体何?同じく現場を持つ身として改めて大切にすべきことは何なのかを考えさせられた。

Aさんありがとう。安らかに。(記:太田正人)

2013年 夏期献金のお願い —これからの中野区議会議員見据えて—

この向島の地に誕生してから、34年。皆様方のご理解とご支援によって支えられ、活動を続けることが出来ましたこと、心より感謝します。今年度も夏期献金にご協力頂きますよう、改めてお願ひを申し上げます。

目的：障がい児・者とその家族とが地域で安心して暮らしていくことができる為に、愛隣館研修センターの今後の活動を支援する

目標金額：3,000,000円

送金方法：郵便振替 01020-5-39321

日 座 名：社会福祉法人イエス団 愛隣館研修センター

さんが引退されると、どうだ▼その後、平和運動センターや長の山城博治（やましろひろじ）さんが立候補される▼先の普天間のゲート封鎖や高江での基地建設阻止の闘いのリーダーだ▼憲法改悪阻止、脱原発、米軍基地撤去などを訴える▼是非山城博治さんを国会へ送りたいと願っています▼比例区は山城博治と書こう（ひ）

▼▼▼マイタウンMJだより
向島ニュータウンセンター商店会内に、(以後、コミニティースペースがオーブンしてから半年が経った。)「この店は何をする多教大形しよのアルキヤンドル』を皮切りマイタウンMJは地域住民に広く周知されるようになる。

周知されるに伴い地域住民から「マイタウン MJ を使ってイベントをしてみたい」という声が多く、中国帰国者の会によると子供達の学習会、ゴールデンウィークに遊びに来る『プラレール』ができる『プラレール in 向島』といった企画が行われてきた。

7月には浴衣の着付教室で夏の震災について教える。福島県から呼びかけで『母子と原爆』の写真展を開催する。この日、夏にかかる費用を想定して、各家庭がベント箱を持参する。

終了したイベントを再び開催してほしいと望む声も多数上がっています。地域に住む子ども達から「プレールはいつまたやるの？」とベランダで聞かれたことがあります。震災開催記憶を憶え、次年度の企画者は次回の開催を計画している。また、『第2回3.11メモリアルキャンドル』の開催も企画されている。

まだオープンして半年しか経っていらないマイタウン MJ であるが、地域住民の関心の対象となつていいことは間違いないだろう。つり一人持つることは、当時では考えられなかつたり、数がマイタウン MJ になつた今現在、マイタウン MJ の動向に目が離せない。

(記: 内山慎吾)

▽愛隣館研修セ
ンターは、八月
八日～十四日ま
で夏期休館日と
させていただき
ます。